



令和8年度なは市民協働大学の“なう（今）”をお届けします！

なは市民協働大学だより

vol.01

令和8年度テーマ

『話す！つながる！動き出す！災害に強いまちをつくろう～求む！未来の防災リーダー～』

1 第1回講座 開講式・オリエンテーション

講師：FC琉球 宮瀬 忍氏、内藤 慶氏 令和8年7月18日(土) 開催

【学長あいさつ 学長（那覇市長）知念覚】

なは市民協働大学へのご入学、おめでとうございます！講座を通して、防災に関するさまざまな団体の取組みを学び、避難所運営の体験をし、なは市民協働大学から地域の防災リーダーが誕生することを期待しています！

【プレスト体験】

FC琉球（面白法人カヤック）によるファシリテーションのもと、プレストカードも使い「奥武山に建設予定のサッカースタジアムでの防災イベントを楽しむアイデア」をお題に意見を出し合いました。防災運動会や大声小声選手権（伝言ゲーム）など、たくさんの発想が飛び交い、受講生のみなさんの緊張も和らぎ、今後の講座に向けて良いキックオフになりました。

- ・プレスト体験が凄く楽しかったです！頭を柔らかくしたあとに、課題にいく流れなど、すごく勉強になりました！（家庭や仕事でも取り入れたいと思いました。）
- ・年代や職種、さまざまな生活背景を持つ方々と交流し、同じ問題について意見を交換することで、自分一人では思いつかない考え方や、多角的な視点を知ることができました。異なる立場からの意見に触れることで視野が広がり、大変勉強になりました。

受講生の感想



プレスト体験の様子



防災服ver.の知念学長

2 第2回講座 沖縄における防災の取組み

沖縄県消防防災対策課 照屋 雅浩 副参事
陸上自衛隊那覇駐屯地第51普通科連隊 小田 雅宏 連隊長 令和8年7月30日(木)開催

講座のポイント

1. 沖縄県、自衛隊の災害時の役割を知る
2. 沖縄県で起こりうる大規模災害について知る
3. 沖縄県、自衛隊が行ってきた災害対応/派遣について知る

沖縄県消防防災対策課の照屋雅浩（てるや まさひろ）副参事からは、これまで沖縄県で発生した災害が紹介され、さらに今後沖縄県で起こりうる「南東沖三連動地震」をはじめとする大規模災害の想定と、その被害想定について説明がありました。また、これまでの災害対応からの教訓として、自動車の避難による渋滞や島の孤立による物資・資機材不足など島しょ県としての防災への取組みの必要性についてもお話されました。その中で「消防ヘリ」の紹介もあり、全国で導入されていない地域は沖縄県のみとなっていることから、現在、島しょ防災の観点から導入に向けて力を入れているとのことでした。

後半は、陸上自衛隊第15旅団第51普通科連隊小田雅宏（おだ まさひろ）連隊長から、まず、各自治体との防災強化を目的とした取組みとして、防災訓練だけでなく、地域イベントでの入浴支援などを通じた連携について説明がありました。また、大規模災害時に提供できる能力として、陸上自衛隊が保有している車両や資材について説明があり、実際に、東日本大震災をはじめ、小田氏が対応した派遣事例を交えながらお話いただきました。

受講生の皆さまが頷いたり、リアクションをしたりしている様子からしっかりと学びを深めている様子が印象的な時間でした。

- ・県、自衛隊それぞれの立場から災害時の対応や防災対策について学ぶことができ、とても勉強になった。特に、自衛隊の話詳しく聞く機会はこれまでほとんどなかったため、とても印象に残った。
- ・沖縄県の地理を含めた、災害の予想であったり、防災について考えるきっかけとなった。普段からしっかりと考えていく必要があると感じた。

受講生の感想



講師：照屋 雅浩 氏



質疑応答の様子



講師：小田 雅宏 氏

「なは市民協働大学だより」では、各講座の様子をお届けします！
「なは市民協働大学」ってどんなことするの？何が学べるの？と気になる方は、ぜひご一読ください。

那覇市市民文化部まちづくり協働推進課
担当：里井、竹尾、高橋

✉ C-KATU005@city.naha.lg.jp

☎ 098-861-5024